

【資料紹介】屋根裏の神仏―「神符」からみえる民間信仰の一形態―

吉留 徹

1. はじめに

平成 19 年度から始まった下関市立豊北歴史民俗資料館¹⁾(以下「資料館」と記す。)の改修工事に伴い、人類学ミュージアムでは、平成 19 年(2007 年)10 月より資料館に収蔵されていた歴史民俗資料の整理²⁾をミュージアム資料収蔵室(旧豊北第 2 中学校)にておこなっている。

今回取り上げる資料は、その整理過程のなかで確認された、H 家より資料館へ昭和 62 年(1992 年)に寄贈されたといわれる江戸時代からの大量の古神符類である。寄贈された経緯については判然としないが、H 家の家屋解体が昭和 62 年 3 月に実施されたという資料があるため(写真 1 参照)、この際に資料館に寄贈されたものと考えられる。

ここにいう神符というのは、周知のように寺社で配布されるお札のことであり、護符の一種である。一般には、神棚や仏壇に納めたり、門・戸口・柱・天井等に貼るもので、宗教者による祈祷や祓いをおこない、そこに霊力や呪力が宿るものといわれる³⁾。祈祷や祓いをおこなった寺社の名、神仏の名や祈願内容等が書かれたり、印刷されている。各地には多く

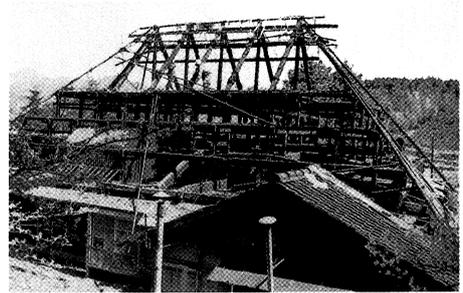


写真 1 : H 家家屋解体風景(1992 年撮影)

の神仏の護符があるが、その文言や絵図や由来、効験など全体的な札の種類についての報告はすでにおこなわれている⁴⁾。現在でも「お焚き上げ」といわれ、毎年新しいものと取り替えられることが多く、神符は、残っていない場合が多い。そのなかで考古学や歴史学では、草戸千軒遺跡をはじめとする発掘遺跡から出土した木札分析や誓約慣行の起請文紙料や絵画資料として現在まで認められる「牛玉宝印」札の分析から、中近世においてどのように取り扱われていたかの分析研究が進んでいる⁵⁾。

しかしながら、各地域のなかでの神符状況、特に山口県内での状況は判明していないのが現状であろう。その意味で、地域内での宗教者の関与、祈願内容をはじめ神符を通しての地域の宗教状況の一端を垣間見る上では、貴重な資料であるといえよう。特に民俗学的には、神棚やそこに祭られる神札との関係から、神が家に常在するかという問題⁶⁾や、民間伝承として、人が亡くなって四十九日間は家の棟に存在するという比較的広範囲に伝承される事例と祖霊との関係をはじめ多くの問題点を考える上でも、神符の地域的分析は必要な事柄である。

そこで本稿では、実際に一つ家にどのような種類の神符類が所有され、そこから果たして、人々のどのような意識や信仰の反映がみることができるのか、資料紹介とともに探してみたい。

2. 神符の種類と形態― H 家と神符の特徴―

H 家のこと 神符を所有していたとされる H 家は、現在下関市豊北町(旧豊浦郡豊北町)田耕地区朝生にある。豊北町に合併される以前の田耕村は、江戸時代には長府藩領豊浦郡田耕筋に属し、5 人

の庄屋による支配がおこなわれていた農村地域である。

しかし江戸時代に書かれた地誌である『豊浦藩村浦明細書』によれば、H家の先祖は、それに近接する同じ田耕筋の市庭、大庭という二つの小村の管轄をする庄屋を務めた旧家で、酒造業もおこない、本陣ともなった家である⁸⁾(写真2参照)。現在のH家は、田耕神社⁹⁾の氏子域にあり、檀那寺は浄土宗安楽寺であるが、江戸時代の朝生村には大將軍、大庭村には大歳社、市庭村には祇園、若宮、赤崎といった各小社があり、またH家の裏山や庭には、その由来や祭神が判然としない神仏を祀った小祠があるため、地域神あるいは個人神仏が混然とし、様々な神仏が信仰対象となっており、江戸時代におけるH家の信仰の実態そのものは重層的で、現段階では明確に捉えられない。

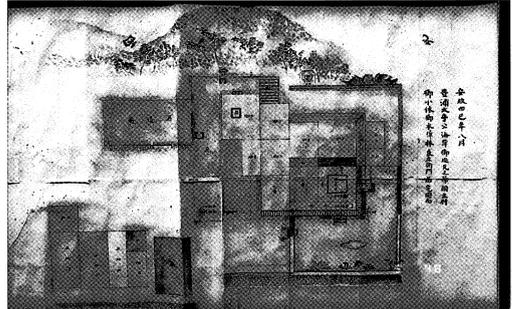


写真2：H家家屋配置図 (出典不明：資料館蔵写真)

神札について 問題となる神符は俵に入れられ、屋根裏に置かれていたものといわれている。(写真3参照) どこにあったものなのか、明確な場所は判然としないものの、その採集等に関わった人からは、「火を使うところ(例えばイロリやクド「竈」)の上にあったものではないか?」、「棟の上にあったものではないか?」とその記憶も曖昧な状況である。

また、H家の方に確認しても、神符はどこにあったのか、憶えていないという。神符の状態から判断すれば、煤で所々黒くなっている状態が確認でき、火の近くに安置されていたものではないかと考えられる。いずれにしても人が生活する場所の上部空間に置かれ、神棚や仏壇といったカミノマ(座敷)がある空間とは別の場所にあったことだけは、確かである。資料整理した結果、計833点の神札が確認された。(表-1参照) それ以外に藁袋、御洗米袋、手紙類も一緒に入られていた。時代としては、神符の記載年から江戸時代後期のものと判断される。

神符に記載されている発行元あるいは神仏名と思われる寺社により分類すると、多い順から①竜王山滝本院122点(写真4)②愛宕山威徳院¹²⁾82点(写真5)③大社(出雲大社)53点(写真6)④天社(土御門)¹³⁾52点(写真7)⑤大神宮(伊勢神宮)22点(写真8)⑥八幡宮(宇佐)18点(写真9)⑦四恩寺¹⁴⁾16点(写真10)⑧天満宮15点(大宰府・豊田町)(写真11)⑨求菩提山普門坊11点(写真12)⑩菅原山観世音寺8点(写真13)⑪英彦山8点(写真14)⑫松尾社8点(写真15)⑬覚天寺¹⁶⁾7点(写真16)⑭熊野本宮6点(写真17)⑮高野山6点(写真18)⑯狗留孫山國護院4点(写真19)。その他場所は特定できないものの⑰盲僧関係3点(写真20)⑱柿本社(人丸社)、白山、加茂社各1点(写真21)、神符以外の藁袋類82点(写真22)、絵札類36点(写真23)、その他扇子、箸、手紙類や不明な札類82点を数える。いずれも木または紙で作られ、木のは手書、紙のものは版木による刷物である¹⁸⁾。

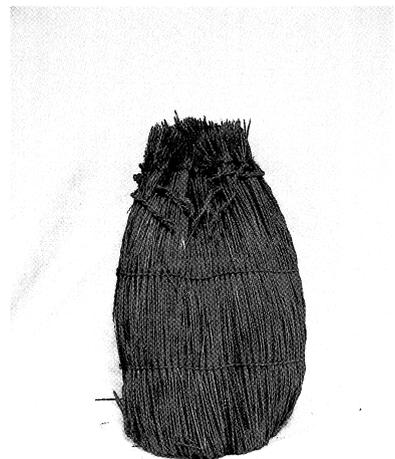


写真3：札の入っていた俵

大きく分類すると修験系①②⑨⑪⑭⑯、神道系③⑤⑥⑧⑫、仏教系⑦⑩⑬⑮⑯、陰陽系⑲となっている。全体的にみると加

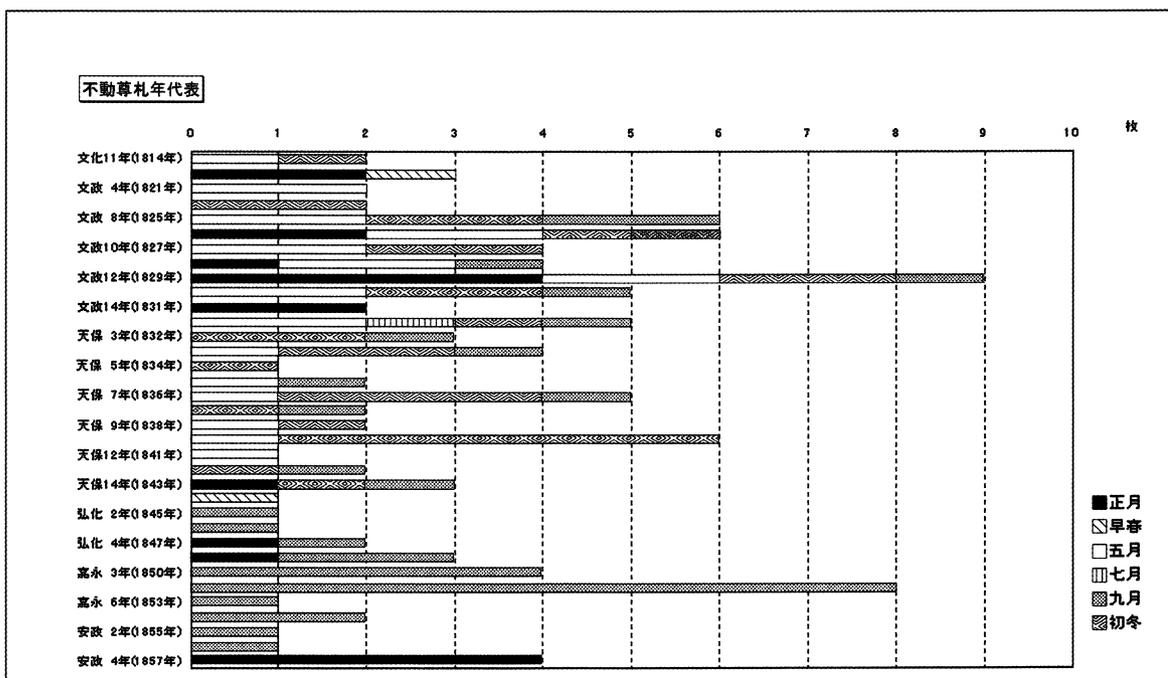
持祈祷をおこなう修験や密教系の寺院が見られ、様々な神仏の札があることがわかる。

神符の発行元場所が判明しているところを地域的にみると、豊北町（現下関市）地域には⑦⑬、下関市地域には①④⑩、豊田町（現下関市）地域には⑧⑯、福岡県豊前地域⑨⑪、福岡県筑前地域⑧⑬、大分県地域⑥といった北部九州と島根県出雲④、京都②⑫、南紀伊勢の⑭⑮からの神符があり、特に長府藩領の修験や陰陽道、島根県出雲地域の出雲大社との関係が強く、ある程度地域が限定されるようである。出雲や伊勢から札を運ぶのはオシ（御師）とよばれ、実際に豊北町では「戦前頃までは、出雲の日御碕の方から御師が来ていた。」という話も聞かれ、民間宗教者が介在していたことがわかる。

次に神符の年代については、①の竜王山滝本院の札のみに年代が記載されており、文化十一年（1814）から安政四年（1857）まで、約40年間にわたって神符を受けていることが確認できた。（表-II参照）恐らくは他の札も、前述の田耕方面に配布していた伊勢御師である高向辻太夫の名が見えていることからでもわかるように、この期間に配札されたものと考えてよいであろう。江戸時代の「先大津勘場記録」には伊勢神宮の神宮大麻の神符を配る御師グループ¹⁹⁾のなかに「高向辻手代兼相勤」として高向辻太夫とともにH太夫の名が出ている。ただ、このH太夫が神札を有していたH家と同一家かどうか特定はできないが、番号315、321のようにH家の名とともに出ており、村を管理する庄屋役であるH家が、御師の定宿であった可能性も含め、神符の配札との何らかの関連があったであろうことは推測される。

神符の祈願内容についてしてみると、五穀豊穡、村中安全、虫除、牛馬安全、火除に関するものが多く認められる。いずれもが、五穀豊穡はほぼ全体にわたって共通しているものの、特に愛宕山威徳院（現在の愛宕神社）にみられるよう、多くは秋葉や愛宕、柿本社など火伏、火除の祈祷札が見受けられる。H家がかつては酒造をおこなっていたために、松尾社の札がある点も特徴といえよう。また、神符ではないが、番号459のように出雲大社から正月の雑煮に入れる薬草などの薬袋があり、実利的

表 - II



な効能そのものを期待し、その象徴となる袋そのものも大事に保管されている点も留意されよう。

これらの神符の入手経路については、直接発行元の寺社から札を持ってきていたのか、他地域に御師²⁰の居住地があり、そこから庄屋クラスのものに配札され、地域に分配されていくのか。またH家のような信仰篤い家が神符を個人的に受けてきたものか。いずれも神符の情報だけではわからない。ただ、このような神符の配布など他国からの流入する宗教活動にあたっては、萩藩では規制をおこなっている。例えば天保三年（1832）には伊勢神楽と高野聖だけが配札を許され、嘉永四年（1851）には伊勢御師だけが許されることとなっているが、現実には様々な宗教者が配札等をおこない、前述のように同時に薬売もおこなっていた点は注意されよう。

3. 神札が伝えること—若干の考察と課題—

枚数および年代がほぼ確定している竜王山滝本院の神符を中心に少しだけ詳しく考えてみたい（表-II参照）。竜王山滝本院は『豊浦藩旧記』²²⁾によれば、滝本院は「天台宗一派山伏修験者寺院」として代々の院主名が記載され、当山派修験（天台系は一般には本山派といわれるが）として妻帯し、代々長門国豊浦郡袈裟頭や帳本役となっている。文政年第十世永珍代には英彦山から養子を迎え、修験道禁止令が出る明治五年（1872）以前の明治三年（1870）には廃院となり、第十一世堅隆代の明治四年（1871）には松崎神社神職となっており、地域社会と密接に結びつき、加持祈祷、配札、先達をおこなったいわゆる里修験であったことが窺える。

滝本院の神符自体をみると、多くの里修験が本尊とする不動明王を奉し、護摩祈祷をおこない、五穀豊穡および村中安全の祈願をおこなっている。だいたい年に多い時で正、五、九月、初冬の4回、少ない時で、初冬あるいは正月におこなっているようである。初冬は旧暦十月（新暦十一月）にあたり、いわゆる刈上げ、収穫時期にあたるが、弘化年代以降には正月あるいは初冬の2回、嘉永年間以降には初冬の1回というのが多い。天保十年（1839）の5枚や嘉永四年（1851）の8枚のように、一度に多くの枚数を受ける場合や文政九年（1826）あるいは十二年（1829）のように年に4回と、回数を多く受けている場合があるが、いずれも先大津郡に虫害や旱魃²³⁾のあった年である。このような災厄に対して臨時的に実施したのか、果たして前者のように数が多いのは、単に居住する家族員数なのか、それとも他に理由があったのかは判然としない。

現在のように、神棚や床の間に飾っている神符は年が変わったら、古札として寺社で焼いたり、あるいは正月のドンド焼きと一緒に焼いてしまうことを考えれば、昔も処分することができなかった神符だけが残っている可能性もあり、この残存した神符をどのように捉えるか、その判断如何に関わる問題なので、速断は避けたいが、例えば天保八年（1837）には凶作のため、七年に一度の浜出祭²⁴⁾を延期するなど非常に厳しい状況であった年であるにもかかわらず、例年より少ない2回しか受けておらず、凶作となるような災厄に対して臨時的におこなうこととは、直接は関係がないようにも考えられる。また、豊北地域にあつては「神札を千枚集めて、家の棟に置いとけば、カミが宿り、家の守護神になる。」²⁵⁾という伝承や同じ田耕市庭I家には、天井裏に火難除けとして御札を吊るしていたという事例²⁶⁾もあり、神符を屋根裏に積極的に残していくという慣行がかつては地域的に行われていたことを考えると、凶作などの臨時的災厄なものではなく、ある程度定期的集積されていたものではない

かとも考えられる。

いずれにせよ、そこには、あらゆる神仏の加護を求めていた人々の姿がそこにはみることができよう。家の守護神、特に火災除として考えられていたと考えられる。特に庄屋という役においては、家だけでなく、村の安全と維持を願ったことが窺い知れよう。

今回各神符については、詳細に触れなかったが、明治五年（1872）に禁止される修験や陰陽道との関わりが明治期に入って、このような地域でどのような展開を迎えていくのか、また、その前提として天保期の改革として、萩本藩および各宰判（支藩を除く萩本藩の地方行政管轄の単位）にて実施される「淫祠解除」のような寺社整理が、果たして長府藩のような支藩においてどのように展開していくのか、その実態を含め、この点については稿を改めて検討してみたい。

インターネットで「御札」と検索すれば、10万件以上がヒットする時代である。御札の貼り方、御札との上手なつきあい方等々様々なHOWTOが懇切丁寧に示され、開運、厄除、除霊、金運、良縁、病気・・・神仏による災厄からの積極的防御とそれによる開運、健康、安全の保護という構図のなかからネットを通して様々な販売がなされている。それは今の健康ブームによるサプリメントの購入や薬の購入などとも同じような構図である。そのような意味では、護符を持つことによる安心感・安堵感といった本質的な部分は、より具体的なものに変化しつつ、方法やシステムは変わっても、そこに何かしらの効能や効果を感じる人々の意識は不変のものといえよう。

今回は紙幅の関係から神符の実際の民俗例も含め、他の神符個別資料の分析、他神符との関係や他地域との事例との比較も含め、十分な検討ができず、今後の課題としておきたい。また筆者の誤解による記述の部分もあるかも知れない。多くの方からの情報とご意見を仰ぎたい。

【謝辞】

本稿作成にあたり、下関市史編修委員児玉識、安富静夫両先生、山口県史編さん室近世部会河本広美先生から貴重なご教示をいただきました。ここに記して感謝いたします。

また、本稿の神符整理にご尽力いただきました人類学ミュージアム・豊北歴史民俗資料館資料収蔵室 松本陽子、岡本久美子、岡部寛子の各氏にも合わせて感謝いたします。

【注および引用・参考文献】

1. 昭和54年（1979年）山口県指定建造物となった旧滝部小学校本館を、翌年より豊北町歴史民俗資料館として開館。地域の方々の収集活動により集められた村方文書、旧村行政資料、葉書、書籍類等の豊北地域内の文字資料、藤田隆司の絵画、掛軸といった美術資料、農具、漁具、日常生活用具といった民具類や映像資料等の非文字資料といった郷土資料を展示公開してきた。平成17年（2005年）に下関市に合併。名称を変更する。
2. ここでは、処分するというのではなく、資料のクリーニング、写真撮影、分量測定、計測図作成といった調査カード、目録の作成および映像データベース作成までの一連の作業をさす。
3. 福田アジオ・湯川洋司他編『日本民俗大事典』（1999）
4. 矢部善三『神札考』（1934）
5. 護符の調査分析研究では、千々和到他「護符・起請文の調査研究」『神道と日本文化の国学的研究発信の拠点形成』研究報告Ⅱ（2007）をはじめ、中野豊任『祝儀・吉書・呪符—中世村落の祈りと呪術—』（1988）には草戸千軒遺跡をはじめとする中世遺跡の大般若教転読護符（呪符）の分析、また関啓司「勸請への祈り—祈禱札を資料として」『民俗文化』201号（1980）他勸請札に関する一連の研究がある。

6. この点については、徳丸亜木「「信仰民具」と神祭りの場」『日本民俗学』第191号（1992）等の論考がある。
7. 柳田國男「先祖の話」『定本柳田國男集 第十巻』（1969）なお『先祖の話』は昭和二十一年四月刊行
8. 豊北町史編纂委員会編『豊北町史』（1972）
9. 明治41年（1908）年に天満宮と八幡宮が合祀される。祭神は応神天皇・神功皇后・菅原道真
10. 『豊浦藩村浦明細書』（安政五年～慶応年）および『防長寺社由来』（元文三年～四年）に記載されている田耕地域の小社。
11. 明らかに札として成立しているものを1枚とした場合であり、中紙だけのものは点数に数えていない。また、数枚で1つの神札を構成しているものは、それで1点と数えている。
12. 現在の京都愛宕神社と思われる。明治期神仏分離以前には、大宝年間に修験の祖役小角と白山修験の泰澄によって創建されたという修験寺白雲寺社僧坊の1つである威徳院と思われる。愛宕大権現を祭祀し、火伏せ防火に靈験があるとされる。
13. 『豊浦藩旧記』によれば、陰陽家として八家とその支流三氏があったが、「近年存スル処五家ノミ」として長府に安田二家と八島、清末に有島二家があったことが記載されており、その長府にあった陰陽家の札だと考えられる。また「一私共家筋ハ当国内ハ勿論、九州筋両筑両豊日隅等之國迄神道相伝ヘ守護札配布致シ来候」と肥前、肥後（佐賀・長崎・熊本）以外の特定地域を領域とし、配札していたことがわかる。
14. 田耕にあった禅宗寺。明治初期に出される無檀家寺院廃止の令により萩市通心寺に合併、廃寺。
15. 「防長寺社由来」によれば、長府真言宗寺。京都東寺（教王護国寺）の末社とされる。
16. 田耕にあった長府藩家老三沢氏の菩提寺。厚狭郡有帆村（現在の山陽小野田市）へ移転。明治6年に豊浦村（下関市長府町）功山寺末月溪院を覺天寺跡に引寺。
17. 『防長寺社由来』によれば、熊野権現を勧請したという長府の真言宗修禪寺が兼帯した豊浦郡奈路地村の院。
18. 版木の有無やその内容等については現在調査できず、今後の調査を要す。
19. 伊勢御師とは元來祈禱師の下級祠官であり、特定信徒との間に師檀関係を結び神宮大麻を配札する者を指す。
20. 前掲書8
21. 前掲書8
22. 明治7年の太政官布達による各府県の歴史および地誌の提出の命により、山口県では、明治12年旧藩文書の整理保存のための旧記掛が設置され、明治14年には支藩関係の史料集の編纂もおこなわれ、豊浦藩では旧藩士の布施幸作、福田清三により明治16年に政治、産業、宗教等豊浦藩の成立から廃止までの諸記録を『豊浦藩旧記』としてまとめられる。
23. 豊北町郷土文化研究会編『改訂版豊北町史年表』（1994）
24. H家の地域で七年に一度おこなわれる大祭。田耕から土井ヶ浜までの約18kmにわたり、武者姿神幸行列がおこなわれる。

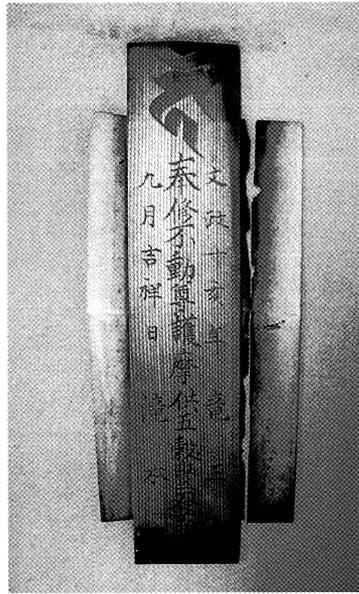
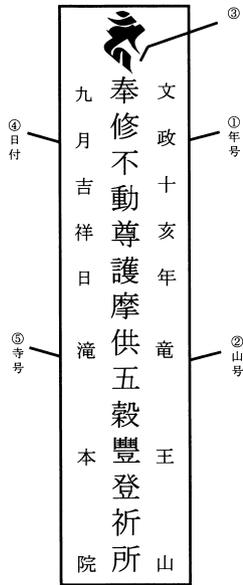
177	8-あ-38 [01] 34	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	310 × 95
178	8-あ-38 [01] 35	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	310 × 95
179	8-あ-38 [01] 36	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
180	8-あ-38 [01] 37	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
181	8-あ-38 [01] 38	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
182	8-あ-38 [01] 39	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
183	8-あ-38 [01] 40	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
184	8-あ-38 [01] 41	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
185	8-あ-38 [01] 42	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
186	8-あ-38 [01] 43	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
187	8-あ-38 [01] 44	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
188	8-あ-38 [01] 45	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
189	8-あ-38 [01] 46	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
190	8-あ-38 [01] 47	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
191	8-あ-38 [01] 48	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
192	8-あ-38 [01] 49	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
193	8-あ-38 [01] 50	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
194	8-あ-38 [01] 51	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	320 × 105
195	8-あ-38 [01] 52	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	400 × 115
196	8-あ-38 [01] 53	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	400 × 115
197	8-あ-38 [01] 54	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	400 × 115
198	8-あ-38 [01] 55	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	400 × 115
199	8-あ-38 [01] 56	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	愛宕山大権現守護所 (中) 絵札 (中)		紙	400 × 115
200	8-あ-38 [01] 57	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	絵札 (中)		紙	400 × 115
201	8-あ-38 [01] 58	愛宕山	御祈禱之札 威徳院	絵札 (中)		紙	310 × 100
202	8-あ-15 [03] 9		愛宕山大権現守護所			紙	270 × 50
203	8-あ-15 [03] 10		愛宕口 駿火難退除牛馬安全守護			紙	245 × 40
204	8-あ-37 [02] 17		愛宕雷除 御口香 (×2枚)			紙	100 × 70
			【大社】				
205	8-あ-12 [10] 1		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	280 × 75 × 35
206	8-あ-12 [10] 2		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	300 × 90 × 30
207	8-あ-12 [10] 3		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	285 × 75 × 35
208	8-あ-12 [10] 4		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	275 × 70 × 25
209	8-あ-12 [10] 5		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	280 × 75 × 35
210	8-あ-12 [10] 6		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	280 × 70 × 35
211	8-あ-12 [10] 7		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	280 × 70 × 35
212	8-あ-12 [10] 8		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	285 × 75 × 35
213	8-あ-12 [10] 9		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	280 × 80 × 25
214	8-あ-12 [10] 10		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	280 × 70 × 35
215	8-あ-12 [10] 11		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	260 × 70 × 30
216	8-あ-12 [10] 12		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	285 × 70 × 30
217	8-あ-12 [10] 13		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	285 × 70 × 30
218	8-あ-12 [10] 14		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	295 × 75 × 35
219	8-あ-12 [10] 15		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	280 × 90 × 10
220	8-あ-12 [10] 16		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	310 × 90 × 25
221	8-あ-12 [10] 17		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	280 × 75 × 15
222	8-あ-12 [10] 18		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	280 × 75 × 15
223	8-あ-12 [10] 19		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	270 × 90 × 10
224	8-あ-12 [10] 20		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	280 × 80 × 10
225	8-あ-12 [10] 21		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	290 × 110 × 10
226	8-あ-12 [10] 22		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	300 × 100 × 10
227	8-あ-12 [10] 23		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	285 × 75 × 10
228	8-あ-12 [10] 24		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	290 × 100 × 10
229	8-あ-12 [10] 25		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	285 × 90 × 10
230	8-あ-12 [10] 26		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	275 × 85 × 10
231	8-あ-12 [10] 27		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	300 × 95 × 10
232	8-あ-12 [10] 28		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	280 × 75 × 10
233	8-あ-12 [10] 29		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	275 × 90 × 10
234	8-あ-12 [10] 30		大社御玉串 上官 北嶋大輔			木箱・紙	280 × 80 × 10
235	8-あ-37 [02] 1		大社御玉串 上官 北嶋大輔 (×61枚)			紙	300 × 120 × 30
236	8-あ-37 [02] 2		大社御玉串 上官 北嶋大輔 (×4枚)			紙	345 × 130
237	8-あ-37 [02] 3		大社御玉串 上官 北嶋大輔 (×4枚)			紙	380 × 140
238	8-あ-12 [10] 36	木箱に巻いて あった紙のみ	大社御玉串 上官 北嶋大輔 (×7枚)			紙	280 × 70 × 5
239	8-あ-12 [10] 41		大社御玉串 上官 北嶋大輔 (×19枚)			紙	290 × 120 × 2
240	8-あ-15 [02] 1		大社御玉串 上官 北嶋大輔 (×12枚)			紙	285 × 110
241	8-あ-23 [02] 7		大社御玉串 上官 北嶋大輔 (×8枚)			紙	
242	8-あ-23 [02] 11		大社御玉串 上官 北嶋大輔			紙	285 × 115
243	8-あ-15 [02] 2		大社御祈禱入	市場大場村		紙	300 × 120 × 20
244	8-あ-23 [02] 14		大社御神供			紙	225 × 90
245	8-あ-38 [02] 8		大社御神供			紙	225 × 90
246	8-あ-38 [01] 102	村中安全	大社豊年祭御祈禱守護	解説不能(中)	家運長文	紙	345 × 110
247	8-あ-38 [01] 103	村中	大社五穀祭守護	久仁都地乃比岐阿羅野於田止奈志而 大社 大巨貴命五穀成就守護 久和農實穩古屋都由 乃多滿餘根(中)	安全	紙	435 × 135
248	8-あ-23 [01] 24	村中	大社五穀祭守護	解説不能(中)	安全	紙	435 × 140
249	8-あ-15 [03] 28	きりき口	大社御口口妙薬		口口口	紙	90 × 65
250	8-あ-23 [02] 26		大社長壽広結			紙	185 × 125
251	8-あ-12 [10] 48		大社長壽広結			紙	170 × 100
252	8-あ-38 [02] 1		大社牛馬安全御祈禱守護			紙	325 × 65
253	8-あ-12 [08] 17		大社地鎮祭東西南北守護	大社地鎮祭(擁)護(後)		木・紙	400 × 115
				解説不能(中)		紙	
				地祭 朝生村 村良■■■(前)		紙	
254	8-あ-15 [03] 19	大社地鎮方除告 文	八雲立出雲口大社八天照太神の御……			紙	290 × 425
255	8-あ-15 [03] 5	くにつち…	出雲大社御祈禱五穀成就所		鎮乃…	紙	270 × 95
256	8-あ-15 [03] 14	手紙のようなもの	口口口……北嶋大輔 (×4枚)			紙	130 × 50
257	8-あ-23 [02] 21		口口口北嶋大輔 (×3枚)			紙	130 × 50
			【天社】				
258	8-あ-12 [09] 8	土御門家	天社神御祈禱御破安田豊後祀曆(×6枚)	天社神天神地紙 八百万神常盤堅盤守賜(中)	(×6枚)	紙	350 × 110
				①牛馬安全枚(前)	(×6枚)	紙	

290	8-あ-12 [08] 11		天社神御祈禱御禊安田敷馬賀茂普親				木	515 × 120	
291	8-あ-37 [01] 18		天社神風除日和請 昆虫除 五穀成就御祈禱	□都鏡□都鏡八口劍生玉死玉 足玉道□玉□比 □毘比□品物比礼 (中)			博士中	紙	395 × 130
292	8-あ-37 [01] 16		天社 五穀東作 祭御禊 蝗除風止	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜(中)			博士中	紙	395 × 130
293	8-あ-37 [01] 17		天社 五穀東作 祭御禊 蝗除風止	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜(中)			博士中	紙	395 × 130
294	8-あ-15 [02] 3		天社神道行事 (× 42 枚)					紙	300 × 140
295	8-あ-12 [09] 1		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜 (中)				紙	430 × 120
				①牛馬安全枚 (前)				紙	
				②吐普加身依身多女 波羅伊玉意喜餘目賜 (前)				紙	
				③水木 神道火鑪戒火災 消除枚 (前)				紙	
				④天社神祭 御守 (前)				紙	
296	8-あ-12 [09] 2		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜 (中)				紙	350 × 120
				①牛馬安全枚 (前)				紙	
				②吐普加身依身多女 波羅伊玉意喜餘目賜 (前)				紙	
				③水木 神道火鑪戒火災 消除枚 (前)				紙	
297	8-あ-12 [09] 3		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨 (× 6 枚)	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜 (中)	(× 6 枚)			紙	345 × 115
				①牛馬安全枚 (前)	(× 6 枚)			紙	
298	8-あ-12 [09] 4		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨 (× 6 枚)	ヒト方々 (中)	(× 6 枚)			紙	340 × 120
				①牛馬安全枚 (前)	(× 6 枚)			紙	
299	8-あ-12 [09] 5		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜 (中)				紙	400 × 125
				①吐普加身依身多女 波羅伊玉意喜餘目賜 (前)				紙	
				②水木 神道火鑪戒火災 消除枚 (前)				紙	
				③天社神祭 御守 (前)				紙	
300	8-あ-12 [09] 6		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜 (中)				紙	360 × 120
				①牛馬安全枚 (前)				紙	
				②吐普加身依身多女 波羅伊玉意喜餘目賜 (前)				紙	
				③水木 神道火鑪戒火災 消除枚 (前)				紙	
				④陌因妙行 謹言 御守護 (前)				紙	
301	8-あ-12 [09] 7		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨 (× 4 枚)	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜 (中)	(× 4 枚)			紙	350 × 120
				牛馬安全枚 (間)	(× 4 枚)			紙	
302	8-あ-23 [01] 1		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜 (中)				紙	350 × 115
303	8-あ-23 [01] 2		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜 (中)				紙	350 × 115
				①牛馬安全枚 (前)				紙	
304	8-あ-23 [01] 3		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜 (中)				紙	350 × 115
				①牛馬安全枚 (前)				紙	
305	8-あ-23 [01] 4		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜 (中)				紙	350 × 115
				①牛馬安全枚 (前)				紙	
306	8-あ-23 [01] 5		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜 (中)				紙	350 × 115
				①牛馬安全枚 (前)				紙	
307	8-あ-23 [01] 6		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜 (中)				紙	350 × 115
				①吐普加身依身多女 波羅伊玉意喜餘目賜 (前)				紙	
				②水木 神道火鑪戒火災 消除枚 (前)				紙	
				③牛馬安全枚 (前)				紙	
				④陌因妙行 謹言 御守護 (前)				紙	
308	8-あ-23 [01] 7		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨	天社神 天神地祇 八百万神 常盤堅盤守賜 (中)				紙	430 × 120
				①水木 神道火鑪戒火災 消除枚 (前)				紙	
				②天社神祭 御守 (前)				紙	
309	8-あ-38 [01] 99		天青地府祭御禊 安田豊後祀磨 (× 6 枚)	謹請天社神 天神地祇 八百万神 鎮護永久枚 (中)				紙	355 × 120
				①牛馬安全枚 (前)				紙	
			【太神宮】 (伊勢神宮)						
310	8-あ-12 [10] 31		太神宮 御師 高向辻大夫					木箱・紙	275 × 70 × 40
311	8-あ-12 [10] 32		太神宮 御師 高向辻大夫					木箱・紙	280 × 75 × 30
312	8-あ-12 [10] 33		太神宮 御師 高向辻大夫					木箱・紙	390 × 85 × 15
313	8-あ-12 [10] 34		太神宮 御師 高向辻大夫					木箱・紙	285 × 80 × 10
314	8-あ-12 [10] 37		太神宮 御師 高向辻大夫 (× 多数)					紙	
315	8-あ-23 [02] 1		太神宮 御師 高向辻大夫	朝生村 林惣次郎様高向辻送… (中)				木・紙	290 × 80
316	8-あ-23 [02] 2		太神宮 御師 高向辻大夫					木・紙	280 × 75
317	8-あ-23 [02] 3		太神宮 御師 高向辻大夫					木・紙	280 × 75
318	8-あ-23 [02] 4		太神宮 御師 高向辻大夫					木・紙	280 × 80
319	8-あ-23 [02] 5		太神宮 御師 高向辻大夫					木・紙	275 × 80
320	8-あ-23 [02] 6		太神宮 御師 高向辻大夫 (× 17 枚)					紙	
321	8-あ-15 [03] 15	手紙のようなもの	林□□□……高向辻大夫 (× 8 枚)					紙	140 × 50
322	8-あ-15 [02] 10		太神宮 御守					紙	170 × 105
323	8-あ-23 [02] 10		太神宮 御守 (× 40 枚)					紙	145 × 90 × 25
324	8-あ-37 [02] 5		太神宮 御守					紙	165 × 110
325	8-あ-38 [02] 6		太神宮 御守					紙	165 × 105
326	8-あ-15 [02] 11		太神宮 正因宮 御祈禱 御守護					紙	180 × 120
327	8-あ-23 [01] 21		太神宮 正邊宮 御祈禱 御祓大麻 御師 松田 大蔵太輔	解説不能 (中)				紙	370 × 25
328	8-あ-23 [01] 20		太神宮 五穀成就守護鎖札 御師 松田主税頭	太神宮 五穀成就祈枚 (中)				紙	320 × 100
329	8-あ-23 [02] 15		太神宮 五穀成就祈枚 (× 42 枚)					紙	250 × 50
330	8-あ-37 [02] 10		太神宮 五穀成就祈枚					紙	250 × 50
331	8-あ-23 [02] 12		天照皇太神宮					紙	260 × 95
			【八幡】						
332	8-あ-37 [01] 13	日本	從五位大神朝臣 八幡宇佐宮御祓大麻 加藤肥後守	絵札 (中)		第一		紙	430 × 140
333	8-あ-23 [01] 22	日本	從五位大神朝臣 八幡宇佐宮御祓大麻 加藤肥後守	絵札 (中)		第一		紙	465 × 145
334	8-あ-38 [01] 91	日本	八幡宇佐宮御祓大麻 加藤肥後守	絵札 (中)		第一		紙	470 × 165
335	8-あ-38 [01] 92	日本	從五位大神朝臣 八幡宇佐宮御祓大麻 加藤肥後守	神詠 夜女毛都伊豆毛夜幣賀岐都満與米仁 夜幣賀岐都女係□□夜幣賀岐遠 (中)		第一		紙	470 × 150
				日本 八幡宇佐宮御祓大麻 第一 (中)				紙	
336	8-あ-38 [01] 93	日本	從五位大神朝臣 八幡宇佐宮御祓大麻 加藤肥後守	絵札 (中)		第一		紙	470 × 150
337	8-あ-38 [01] 94	日本	從五位大神朝臣 八幡宇佐宮御祓大麻 加藤肥後守	絵札 (中)		第一		紙	470 × 150
338	8-あ-38 [01] 95	日本	從五位大神朝臣 八幡宇佐宮御祓大麻 加藤肥後守	絵札 (中)		第一		紙	470 × 150

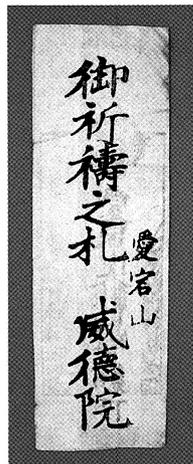
412	8-あ-37【01】25	松尾社		御祈禱御札 本願所	牛玉松尾社寶印 牛玉万石寺寶印(中)			紙	
					松尾大明神守護所(中)			紙	440×120
413	8-あ-38【01】62	松尾社		御祈禱守札 本願	牛玉松尾社寶印 牛玉万石寺寶印(中)			紙	
					松尾大明神守護所(中)			紙	400×115
414	8-あ-38【01】63	松尾宮		御祈禱守護 本願所	牛玉松尾社寶印 牛玉万石寺寶印(中)			紙	
415	8-あ-15【01】48	松尾宮		御祈禱守護 本願所	松尾大明神守護所(中)			紙	325×115
				【覺天寺】					410×135
416	8-あ-15【01】24			御祈禱配帳 覺天寺	奉轉讀大般若理趣分如意満足祈攸(中)			紙	350×120
417	8-あ-15【01】25			御祈禱配帳 覺天寺	奉轉讀大般若理趣分如意満足祈攸(中)			紙	350×120
418	8-あ-15【01】26			御祈禱配帳 覺天寺	奉轉讀大般若理趣分如意満足祈攸(中)			紙	340×110
419	8-あ-23【01】14			御祈禱配帳 覺天寺	奉轉讀大般若理趣分如意満足祈攸(中)			紙	350×115
420	8-あ-38【01】77			御祈禱配帳 覺天寺	奉轉讀大般若理趣分如意満足祈攸(中)			紙	330×115
421	8-あ-38【01】78			御祈禱配帳 覺天寺	奉轉讀大般若理趣分如意満足祈攸(中)			紙	350×115
422	8-あ-38【01】79			御祈禱寶筒 覺天寺	諸天龍神 護修正三朝奉轉讀大般若經三部如意満足攸 金剛夜叉(中)			紙	350×120
				【熊野】					
423	8-あ-23【01】19	日本第一	本宮御師	熊野太神宮 請河掃部	日本第一 御田祭五穀成就虫除守護攸 熊野本宮(中)			紙	345×110
424	8-あ-38【01】83	日本第一	本宮御師	熊野太神宮 請河掃部	日本第一 御田祭五穀成就虫除守護攸 熊野本宮(中)			紙	340×110
425	8-あ-38【01】84	日本第一	本宮御師	熊野太神宮 請河掃部	日本第一 御田祭五穀成就虫除守護攸 熊野本宮(中)			紙	340×110
426	8-あ-38【01】85	日本	御師	熊野太神宮牛玉祝 請河掃部	絵札(中)	第一		紙	440×130
427	8-あ-38【01】86	日本	御師	熊野太神宮牛玉祝 請河掃部	絵札(中)	第一		紙	440×130
428	8-あ-15【01】46	日本	御師	熊野本宮牛玉祝 請河掃部	絵札(中)	第一		紙	450×140
429	8-あ-15【02】5			熊野御神供 (×2枚)				紙	190×95
				【高野山】					
430	8-あ-12【08】13			高野山			上智院	木・紙	390×100
431	8-あ-12【08】14			高野山	奉修不動尊護摩供如意満足祈		上智院	木・紙	415×110
432	8-あ-12【08】15			高野山	奉修不動尊護摩供如意満足祈		上智	木	400×95
433	8-あ-38【01】105			御祈禱之札 高野山 千手院谷 本覺院	奉修不動尊護摩供□□如意成就攸(中)			紙	330×100
434	8-あ-23【01】9			御祈禱之札 高野山 千年院谷 本覺院	奉修不動尊護摩供□□如意成就攸(中)			紙	330×105
435	8-あ-23【01】10			御祈禱之札 高野山 千年院谷 上智院	奉修不動尊護摩供如意満足祈攸(中) 絵札(中)			紙	405×120
436	8-あ-23【02】25			一む□□志やく □□□痛ま□	御夢想 家傳 小粒丸 本家調合所 富士井次郎左衛門		高野山小田原	紙	185×120
				【狗留孫山】					
437	8-あ-38【02】3	狗留孫山		御守護	解説不能(中)		國議院	紙	190×135
438	8-あ-38【02】4	狗留孫山		御守護			國議院	紙	190×135
439	8-あ-23【02】9	狗留孫山		御守護			國議院	紙	190×140
440	8-あ-15【02】14	狗留孫山		御守護			國議院	紙	190×135
				【盲僧・地神】					
441	8-あ-38【01】108	牛馬安全	盲僧頭	堅牢地神社御祈禱 定□法印	解説不能(中)		五穀成就	紙	330×115
442	8-あ-38【01】107			地神祭木火■金水御守護	解説不能(中)		五穀成就	紙	380×115
443	8-あ-15【01】54	五穀成就		地神祭木火土金水御守護	□□□□□々如律令(中)			紙	360×120
444				【柿本社】					
	8-あ-23【01】27	石見戸田里 語家		正位柿本社御祈禱守札 祈主	正位柿本社火除祈禱御守(中)			紙	325×110
					正位柿本大明神(絵札)(中)			紙	
				【白山】					
445	8-あ-23【01】26		貴山	奉修白山大権現御祈禱	奉修白山大権現御守札(中)		□福院	紙	310×110
				【日神尊】					
446	8-あ-15【01】33			日神尊 御祈禱大麻 神主	月神尊 日神尊 御祈禱守護(中)			紙	330×110
447	8-あ-15【01】34			日神尊 御祈禱大麻 神主	八□籠 三種神寶八坂□曲玉神□神通力 草葺劔(中)			紙	330×110
448	8-あ-15【01】35			日神尊 御祈禱寶策猶親 敬白	天照日大神御□成就祈處(中)			紙	320×110
449	8-あ-37【01】22			日神尊 御祈禱寶策 猶親敬白	天照日大神御□成就祈攸(中)			紙	330×120
				【十一面観音】					
450	8-あ-38【01】80			十一面観音供御贖 愈□者				紙	460×135
451	8-あ-38【01】81			十一面観音供御贖 愈□者				紙	460×135
452	8-あ-38【01】82			十一面観音供御贖 愈□者				紙	460×135
453	8-あ-23【01】28			十一面観音供御贖 愈□者				紙	460×140
				【木札不明分】 合計 39点					
				【紙札類不明分】 合計 141点					
454	8-あ-37【01】2			大般若經祈禱壇 泰衰院	奉轉大般若六百卷 金剛夜叉 諸天龍神 專祈攸(中)			紙	380×120
455	8-あ-15【01】47	五穀成就		御祈禱之札 常覺院	解説不能(中)			紙	330×110
				【絵札類不明分】 合計 36点					
456	8-あ-15【03】1			天葦原中國本自… (×8枚)				紙	340×250
457	8-あ-15【03】2			絵が描かれている紙札 (×4枚)				紙	280×190
				【葉袋類】 合計 82点					
458	8-あ-37【02】16			雲□名産 十六嶋葉菜				紙	250×120
459	8-あ-38【02】21			出雲十六嶋葉菜 正月元旦雑煮ノ上置シテ 食スレバ其年ノ邪氣ヲハラヒ難病ヲノガル、事神世ヨリノ例ナリ				紙	245×110
				【その他不明分】 合計 82点					

〔凡例〕

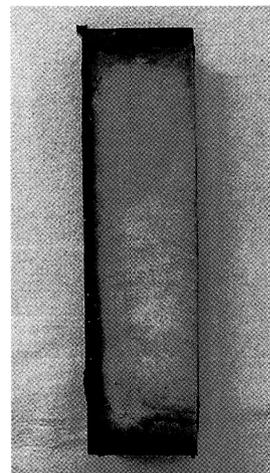
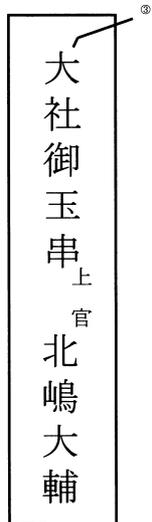
- …… 煤やコゲなどで見えない、破損などで解説不能なもの
- …… 字が読めないもの
- (中) …… 中紙
- (前) …… 御札の前に結ばれていたもの
- (後) …… 御札の後に結ばれていたもの
- (間) …… 御札と御札の間に入っていたもの
- ① …… 数字は御札の上からの重なりを示す ①は一番上の御札を表す



(写真4) 竜王山25

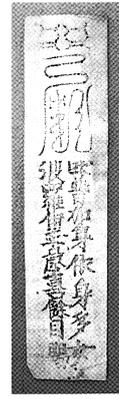
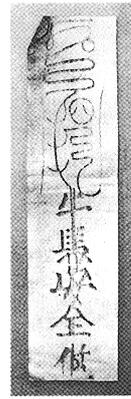
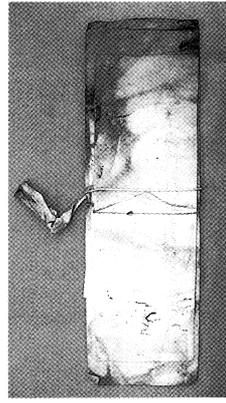
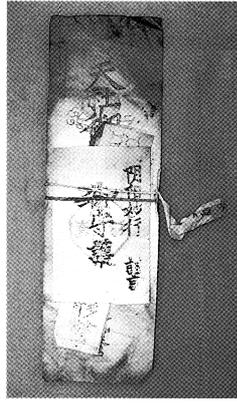


(写真5) 愛宕山164



(写真6) 出雲大社208

天社御祈祷御祓
土御門家
安田豊後祀麿



(写真7) 天社267



(写真8) 伊勢311



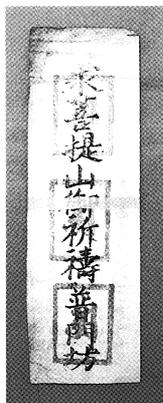
(写真9) 八幡342



(写真10) 四恩寺350



(写真11) 天満宮372



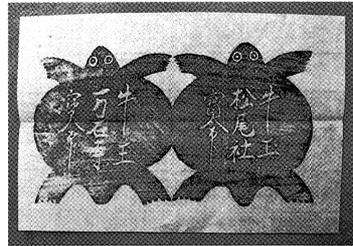
(写真12) 求菩提山386



(写真13) 観世音寺392



(写真14) 英彦山400



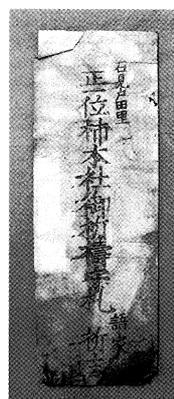
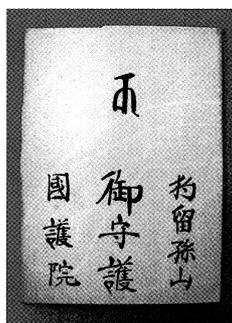
(写真15) 松尾社411

(写真16) 覺天寺421



(写真17) 熊野426

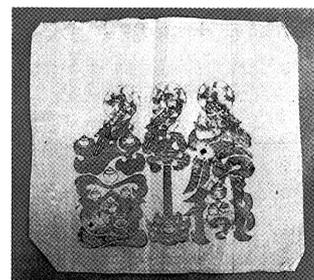
(写真18) 高野山435



(写真19) 狗留孫山445

(写真20) 盲僧449

(写真21) 柿本社452



(写真22) 葉袋458

(写真23) 456・457

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

研究紀要

第4号

発行年月日 2009年3月
編集・発行 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム
〒759-6121 山口県下関市豊北町神田上 891-8
TEL 083-788-1841・1842

印刷 アリフク印刷株式会社
〒759-5101 山口県下関市豊北町栗野 4896-8
TEL 083-785-0311
FAX 083-785-0312
